



『GRIT（グリット） ～ やり抜く力 ～』

校長 福田 雅子

今日は始業式で生徒の皆さんに話した「やり抜く力」について改めてお伝えします。今年 Olympic-year ということで、オリンピック、パラリンピックに合わせて各スポーツの試合やルール、選手について、新聞やテレビ、ネットなどでも数多く取り上げられています。近年アメリカの教育界、ビジネス、スポーツの分野において、グリット（GRIT）と呼ばれる力が注目されているそうです。日本語では「やり抜く力」と訳されます。この「やり抜く力」とは、目標に対してひたむきに取り組み、挫折や困難を味わってもあきらめずに努力し続ける、「情熱」と「粘り強さ」の二つの要素から成り立っています。そして、人生で成功を決める究極の能力は、才能でもテストの成績でもなく、この「やり抜く力」であるということが、研究により科学的に突き止められたということなんです。更に、この「やり抜く力」は伸ばすことができるという研究結果にも私は勇気をもらいました。それではこの「やり抜く力」はどのようにして身に付き、伸ばすことができるのか。翻訳本【やり抜く力 GRIT-----人生のあらゆる成功を決める「究極の能力を身に付ける】から一部を紹介します。

大きく分けると二つの方法があります。一つは自分自身の内側から伸ばす方法です。『興味や関心を持って、そのことについて自分で掘り下げていくこと。』『高い目標を設定し、それに向かう「意図的な練習」を習慣にすること。』このことは、ラクな「練習」はいくら続けても意味がないとも言っています。高校生の皆さんに置き換えて言うと、どのように学習するか、時間だけでなく勉強との向き合い方やその質が大事だということにもなります。また、『自分のスキルを上回る目標を設定してはそれをクリアする練習を習慣化する。』というやり方も有効です。そして、『今取り組んでいることが、次の大きな目標に繋がっていると自覚すること』が大切だと述べています。最後に、『絶望的な状況にあっても、時には楽観的に考えて希望を持ち続ける』ということです。

次に二つ目の外側から「やり抜く力」を伸ばす方法。それは、先生や先輩、友達など周りの人々が重要な役割を果たす、というものです。これはまさに高校生の皆さんにとって学校での学びそのものです。一人ではなく、複数で、集団で、切磋琢磨し、もがきながら、時にはライバルと努力を続けることで自然とスキルアップに繋がりが、そのことによって自信が湧いてきて、もっと大きなことにも挑戦しようと思欲が出てくる。ただ、私もそうですが誰でも壁にぶつかったり失敗すると、これが自分の能力の限界だと思ってしまう。また時には、少しやってみてやめてしまうこともあったりします。しかし、どちらも、もう少しあとひと踏ん張りやってみればできたかもしれません。

ということで、最後にこの「やり抜く力」について、より具体的な次の4つを紹介します。

2月の行事予定		
日	曜	行事予定
1日	土	陸上部新人駅伝
4日	火	1・2年進路講演会
7日	金	主権者教育
8日	土	2年校外模試（～9日）
10日	月	3年進路体験発表会（中学校）
13日	木	1・2年学年末考査時間割発表、朝学タイム開始
14日	金	小中高一貫教育地区報告会
20日	木	1・2年学年末考査（～26日）
21日	金	3年二次特編終了
23日	日	英検二次
25日	火	国公立大学前期試験
27日	木	考査返却特別時間割
28日	金	卒業式設営、同窓会入会式、卒業式予行



吹奏楽部出初式参加

1月6日（月）、小値賀町の消防出初式に吹奏楽部が小値賀中学校吹奏楽部、ちかはな吹奏楽団の皆さんと一緒に参加し、式での演奏を行いました。

消費者生活支援講座

1月14日（火）1年生対象と3年生対象で消費者生活支援講座を実施しました。長崎県食品安全・消費生活課 啓発相談班 係長 大坪辰也氏をお招きし、「賢い消費者になるために」の演題で講話をしていただきました。



講師の大坪先生



生徒代表お礼のことば



- ① 「やり抜く力」を伸ばすには、一歩ずつでも前に進むこと
- ② 「やり抜く力」を伸ばすには、興味ある目標に粘り強く取り組むこと
- ③ 「やり抜く力」を伸ばすには、厳しい意図的な練習を毎日続けること
- ④ 「やり抜く力」を伸ばすには、七回転んだら八回起き上がること

いずれも、生徒の皆さんが毎日の生活で既に心がけてほしい、と私は思うのですが、もしも、いや自分はまだまだだという人は、今年目標の一つに、『「やり抜く力」を伸ばす』を加えてほしい。まずは今日の学習から、部活動の練習から。

ロードレース大会

1月21日（火）、令和元年度北松西高等学校ロードレース大会が実施されました。

女子 9:30 スタート(5.2km)：学校→松香丘→大浦→浜津→柳→学校

男子 10:30 スタート(8.5km)：学校→柳→浜津→大浦→笛吹→中村→柳→松香丘→学校のコースで、チーム対抗（男女合わせて10名）の全3チームによる合計タイムで競技を実施いたしました。開会式では2年升水汐里さんが選手宣誓を行い、正々堂々と競い合うことを誓いました。生徒たちは自己の限界に挑戦し、最後まであきらめず全員走り抜きました。完走後は保護者、3年生、職員が準備した豚汁、ご飯がふるまわれました。炊き出しに協力していただいた保護者の方々、沿道で応援をいただいた地域の方々、交通関係および救護関係の警察署、消防署の方々、本当にありがとうございました。結果は以下の通りです。

【団体の部】 優勝：ブルーチーム

【個人の部】

女子 優勝：北野 唯奈 23分54秒

2位：川口みさと 24分09秒

3位：西 菜璃子 24分15秒

男子 優勝：橋本虎太郎 30分49秒

2位：山下 翔護 32分03秒

3位：守山 一徳 33分18秒



選手宣誓



スタートの様子



ゴールの様子



レース後の豚汁・ご飯

センター試験

1月16日（木）、大学入試センター試験への出発にさきだち、本校の3年生6名が在校生および職員から激励を受けました。本校の生徒は1月18日（土）、19日（日）の2日間、佐世保市の長崎県立大学の会場で試験に挑みました。



在校生からの激励



激励を受ける受験生

編集後記 松のひとりごと・・・

2020年・令和2年（子年）がスタートしました。いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの開催年です。充実した1年とするための準備は整っているでしょうか。皆さんがそれぞれ昨年の自分から様々な面で成長できるよう願っています。

また、3年生と過ごすことができるのも残りわずかとなりました。心残りのないよう関わり合い、北松西高校を受け継いでいきましょう。

